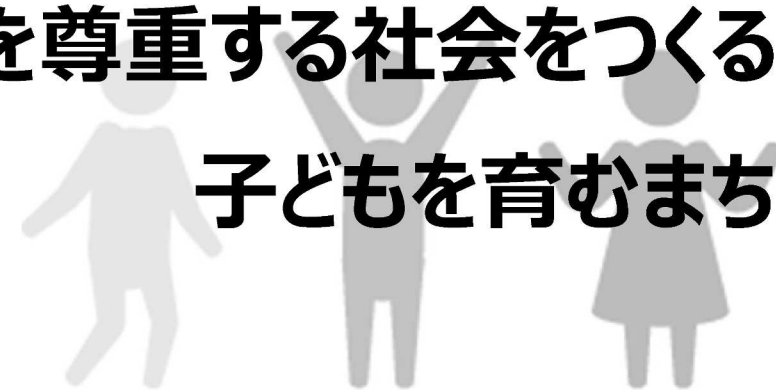




レガシー① 多様性を尊重する社会をつくる 子どもを育むまち





01 | キャリア在り方生き方教育に基づく共生・協働の精神の醸成

＜みらいねっと～キャリア在り方生き方教育全市交流会～＞

時期：令和7年10月22日（水）

場所：本庁舎2階ホール

児童生徒が、学校や地域の良いところを見つけ、それについて調べたり、学んだりしたことなどについて、他校の児童生徒と交流する取組を発信する場の一つとして新たに開催しました。

各学校が取組をスライドにまとめ、代表校8校の児童生徒が発表を行いました。

子どもたちに、もっとかわさを好きになってもらうとともに、多様性を尊重し、共生社会の担い手として、自分たちができることなどを考えて実践する場となりました。



新小倉小学校の発表の様子



みんな、色々なことに挑戦していたり、自分から動いていたことが分かったので、私も負けずに取り組んでいきたいなと思いました。そして、地域とのかかわりを持ちたいなと思いました。



参加児童の感想



02 | 「生きる力」を伸ばし、人間としての在り方生き方の軸をつくる教育の推進

多様性を尊重する社会をつくる子どもを育む教育を推進する「**キャリア在り方生き方ノートを活用した実践**」や、児童生徒が安心して学校生活を送ることができる環境づくりを推進するため、児童生徒、保護者、教員を対象とした「**性的マイノリティへの理解促進のためのプログラムの実施及びリーフレットの配布**」等の取組を引き続き行っていく。

全市立学校
14万枚
※3月配布予定

一人ひとりの思いや違いなどを理解し合って、それぞれのよさが生かされてまとまっているクラス

●クラスの理想像

尊重し合えるクラス

★今回は合意形成の必要はありません。
★あくまでも判断する基準は「クラスの理想像」です。そこはふれないようにしましょう。

●どんな姿なら「尊重し合えるクラス」だろう。個人で考えてみよう

歌、ていて、みんなが楽しいなと思えるような合唱コン練習をする。明るい雰囲気です。練習から本番まで歌う。おに尊重し合える。実際に向けて、応援し合えるクラス。

一人ひとりの歌の思いや声の調いなどを理解し合、それぞれの個性が活かされてまとまっているクラス。

●どんな姿なら「尊重し合えるクラス」だろう。班で共有してみよう。〇相手の位置と理解し合、自分の位置と向き合えるクラス。

キャリア在り方生き方ノートを活用して、合唱コンクールに向けた目標設定（一部抜粋）

03 | 一人ひとりの教育的ニーズへの対応

子どもたち同士が互いを知り、関わりながらともに学び、相互理解へつなげる「**特別支援学校及び小中学校児童生徒との居住地校交流の実施**」や、日本語指導が必要な児童生徒を対象とした「**日本語指導初期支援員による学校生活への適応支援と初期の日本語指導の実施**」「**特別の教育課程による日本語指導の実施**」等の取組を引き続き行っていく。

日本語指導実施校
146校 (R7.12現在)



日本語指導の様子